

世界株式型(為替ヘッジあり)特別勘定 運用状況(2009年7月末現在)

運用方針

- 主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 原則として、為替ヘッジを行います。
- MSCI KOKUSAIインデックス(円ヘッジ)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	314,990	94.7%
現預金・その他	17,653	5.3%
合計	332,643	100.0%

運用状況

2009年7月の世界株式市場は、MSCI KOKUSAI(現地通貨ベース)で8.07%の上昇となりました。大手企業の予想を上回る決算や経済指標の改善を背景に、景気底入れ期待が高まり上昇しました。米国では、6月の住宅着工件数が昨年11月来で最多となり、住宅市場回復への期待が高まりました。このような市場環境の中、当特別勘定は7.34%上昇しました。

当特別勘定では、資産規模を勘案し、マルチ・マネージャー型の投資信託を中心とした運用を行っています。

7月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

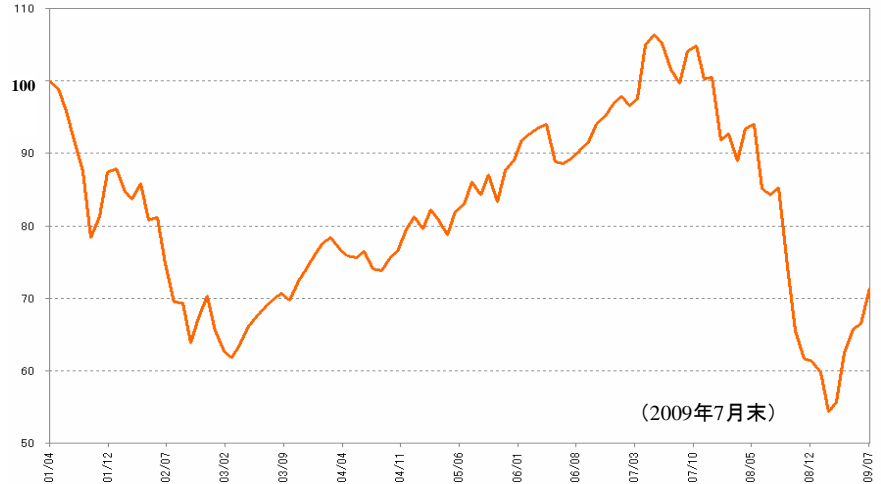
8月についても、マルチ・マネージャー型の「ラッセル外国株式ファンドI-4A」を中心とした投資を継続する方針です。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
71.38119078	+7.34%	+14.51%	+19.55%	▲15.26%	▲20.07%	▲3.61%	▲28.62%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル外国株式ファンドI-4A (69.1%) : p21上段
年金積立インデックスファンド海外株式(ヘッジあり) (25.6%) : p21下段
現預金・その他 (5.3%)

(注)「p21上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。